

賛助会員会報

☆☆ 木 曾 ☆☆ 第120号

平成28年1月18日

長野県の平均寿命は男女とも全国一。これからは人生90年時代。私たちが元気に、「生きが
いづくり 健康づくり 仲間づくり そして社会参加活動」に取り組んでいきましょう。

謹賀新年 木曾地区賛助会のさらなる飛躍の年に

新しい年を迎え、会員の皆様のご健勝と活動グループの益々のご発展をご祈念申し上げます。
本年も賛助会活動へのご支援・ご協力を宜しくお願いいたします。

平成28年(2016年、申年) 1月

木曾地区賛助会役員一同

新年のごあいさつ



木曾地区賛助会長 上田邦男

新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様にはご家族お揃いで希望に満ちた新年をお迎えになられた事と存じます。平素は賛助会活動への深いご理解・ご協力、誠に有り難く御礼申し上げます。

木曾地区賛助会も他地区同様、高齢化に伴いまた、核家族化、地域社会との希薄化などから会員の減少により、グループ活動も活発とは申し上げられない状態であります。このような状況でありましても、事業は当初の計画通り進行しております。課題はなんといっても会員の減少であります。今一度、センターの設立趣旨である「豊かで活力ある健康長寿社会づくり」の重要性をご理解いただき、一人でも多くの賛同を得て、入会して頂くことを最大目標に取り組んでいきたいと思ひます。入会者をいかに増やしていくか知恵を出し合っていきたいと思ひます。

会員の皆様をはじめ、新しく加入されます方々が、グループ活動などにより、自らの健康、生きがいづくりをすすめ、地域社会に貢献し、県が目指す全国一の健康長寿県づくりの一翼を担っていただきたいと存じます。

ある情報誌に、「今年は十二支の9番目にあたる申(さる)年です。申年は「去る」と発音が同じことから「災いが去る」、「病が去る」など、幸せが訪れる年と解釈されるほか、猿の赤い尻にあやかって、「赤い肌着を着ると病が去り、縁起がいい」といった言い伝えが日本各地にある」と書かれていました。嫌なことは去っていき、好ましいことは伸びていくそんな年になってほしいです。

本年も引き続きご指導ご鞭撻を心よりお願い申し上げます。併せて会員の皆様、関係各位のご健康とご多幸を祈念申し上げまして新年の挨拶とさせていただきます。

第20回木曾地域高齢者作品展 今年度も盛大に開催される

2015信州ねんりんピック長野県高齢者作品展
県知事賞・理事長賞の12点も同時展示

レベルの高さ、頑張り示す作品417点!

～最高齢者 男性96歳 女性91歳 来場者525名～

木曾地域高齢者作品展が、昨秋11月10日、11日の2日間、上松町ひのきの里総合文化センター(旧 県木曾勤労者福祉センター)で開催され、246名の方から417点の出品をいただきました。出品者数は昨年よりやや減少しましたが、作品数は上回りました。(昨年出品者数260、作品数397) 来場者数は、やや、減少しました。(昨年538)

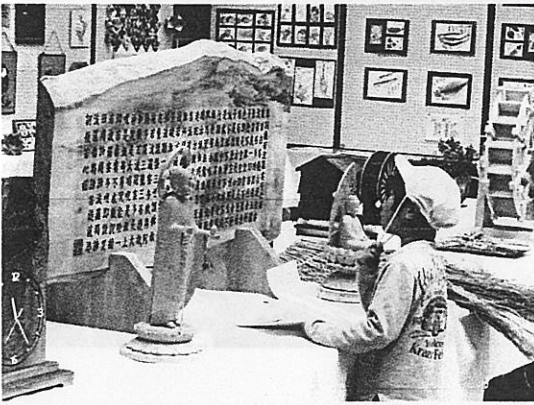
初めて参加して下さった方も多く、今年度も見ごたえのある作品がたくさんありました。出品者、来場者、関係者の皆様方に心より感謝申し上げます。

10日のオープニングセレモニーでは、実行委員長である上田邦男木曾地区賛助会長のあいさつに続き、県議会議員の村上淳様、上松町副町長の畑中清一様からご祝辞をいただき、このあと、村上県議会議員、上田会長、堀内常務理事、畑中副町長様並びに主催者の木曾保健福祉事務所長西垣明子様、郡老人クラブ連絡協議会長柴山勉様6名によるテープカットにより華やかに開催となりました。



2日間で525名の皆さんに来場いただき、作品を鑑賞していただきました。来場者の皆さんの真剣に作品を見つめる姿、お互いに交流を深めあう姿が印象的でした。また、上松小学校の児童(3年生、29名)、大桑村シニア大学OB会約20名、シニア大学伊那学部学生約20名、木曾町山平地区の団体約20名の皆様が来場され、20回目の作品展に花を添えていただきました。

写真で見る作品展のようす



(ロビーでは・・・)

すべての製品がみる見の真実



囲碁を通しての交流



社会福祉施設で作った物品の即売会

〔参観者の方から寄せられた感想より〕

◇感想

- ・素晴らしい作品が多くて驚いた。高齢者の力作に感激した。
- ・センス、こだわりがあってすごい。若々しい作品に感動した。
- ・「さすが」の一言。力作揃いで圧倒された。
- ・予想以上に素晴らしかった。驚いた。
- ・自分も頑張らなければと励みになった。活力をいただいた。
- ・年齢に関係なく挑戦する姿勢が大切だと思った。見習いたい。
- ・繊細で丁寧な作品ばかり。創作の熱意を感じた。
- ・毎年新しい分野の作品が増えていて楽しみ。
- ・自分も出品できてうれしい。今後も出品できるよう頑張りたい。



◇来年度への意見・要望として

- ①これ以上寒い時期はさけた方がよい。
- ②作者のコメントが記入してあるほうが見ている楽しい。
- ③町村で作品の運搬に協力してもらえると出品しやすい。
- ④開催日をもっと宣伝した方がよい。
- ⑤今後も作品展を続けてほしい。(多数)

※参観者や実行委員の意見・要望等については、実行委員会で検討し、出された課題についてはできる限り前向きに検討していくことを確認しました。

<編集後記>

新年明けましておめでとうございます。

昨年の長期天気予報が当たり、この冬は暖冬が続いています。毎年苦勞している雪かきもなく、暖房費も少なくて済み良い反面、雪不足でスキー場は打撃を受けています。今後寒くなるという予報もありますが、積雪がないことでのこの春以後の水不足が心配されます。

今回第20回木曾地域高齢者作品展という節目を迎え、最高齢者男女お二方にご出席いただき表彰状をお渡ししました。作品展はまだまだ出品数が増えるのびしろはあると思いますので、皆様のご協力をお願い致します。

皆様のご健康とご活躍を心よりご祈念申し上げます。

〔会報担当幹事：出口治朗・長谷川昭〕

賛助会への入会・シニア大学の入学

声掛けで、仲間の輪を広げよう！！

**募
集**

長寿社会開発センター木曾地区賛助会 会員

長野県シニア大学 木曾学部 学生

賛助会員の皆さん、お友達やお知り合いの方にすすんで声をかけていただき、木曾地区賛助会への入会およびシニア大学木曾学部への入学をぜひお勧めいただきたいと思います。

シニア大学への入学生が増えることは賛助会員が増えることにもつながっていきます。また、賛助会については、賛助会員増のため、各グループでの非賛助会員の入会も積極的に勧めたいと共、新グループの立ち上げも勧め、仲間の輪を広げていきましょう。

賛助会員募集要項

- 1 年 齢 制限はありません。
- 2 募集期間 随時。但し、活動支援金の関係で2月～4月に入会することが望ましい。
- 3 会 費 入会金 1,000円 年会費 3,000円 (但し、老大・シニア・シニアリーダー・地域いきいき実践塾卒業・修了生は入会金免除です)
- 4 特 典
 - ・「会員証」「会員バッジ(池田満寿夫氏デザイン)」が交付されます。
 - ・情報誌「信州りらく」年4冊が届く。(楽しく、ためになる情報が満載)
 - ・活動するグループには、活動費の助成を支援。(A会員人数に応じて助成。)
 - ・割引サービス(ホテル・温泉・旅行代理店・美術館・映画等約310店)

シニア大学募集要項

- 1 入学資格 おおむね60歳以上の県内在住者で、学習意欲が旺盛であり、地域活動等を行おうとする方。なお、平成25年度以前に長野県シニア(老人)大学を卒業された方も再入学できます。 (定員50名)
- 2 授業料・受講料(年額) 10,000円 (予定) 他に自治会があり会費を徴収します。
※教材費の一部負担があります。
- 3 学習内容の例
教養講座「木曾の歴史と文化」 1年移動講座「赤沢美林研修」 2年移動講座(郡内6町村を年度ごと巡回しての講座) 実習講座「調理実習」
実技講座「書道、短歌、俳句、絵手紙、陶芸」 ボランティア実践講座
- 4 修学期間 2か年(年19回)
- 5 教 室 木曾合同庁舎
- 6 募集期間 平成28年2月1日(月)～2月29日(月)
- 7 問い合わせ先 最寄りの町村役場・支所 又は木曾保健福祉事務所福祉課(Tel.25-2218)